



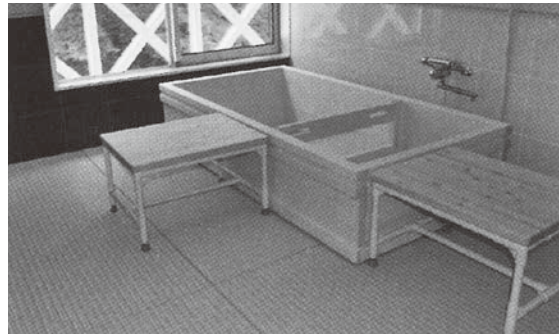
兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 **12**



特別養護老人ホーム あすなら苑



檜風呂の洗い場に畳を敷き、利用者と介護職員が会話しながら入浴（あすならホーム様本）



11月19日(火)、「保健・医療・福祉研究会」の施設見学研修として、社会福祉法人 協同福祉会 特別養護老人ホーム「あすなら苑」(奈良県大和郡山市)を訪問。研究会メンバー6名と会員生協から4名、事務局3名の計13名が参加。「あすなら苑」サロンにて、村城 正 理事長より「あすなら10の基本ケア」に基づき実践されている介護を学びました。(関連記事P.3)



兵庫県森林組合連合会 専務理事

上原 利信
(うへはら・としのぶ)

森に親しみ 森を育てる

「高知から蒸気船に乗って海路神戸へ向かった。私は瀬戸内海の海上から六甲山の禿山を見てびっくりした。はじめは雪が積もっているのかと思った」

御存じの方も多いと思います。これは「日本の植物学の父」牧野富太郎博士の随想「東京への初旅」の一節で、明治十四年当時の六甲山は、緑豊かな現在からは想像ができないほど荒涼とした景観だったようです。

また、この荒廃が昭和十三年の大水害を引き起こす原因になったこともよく知られており、こうした災害を再びくり返すまいと治山や砂防工事などで永々と植栽が行われた結果、現在の緑豊かな六甲山の姿になっています。

十一月四日、この六甲山にある神戸市立森林植物園で「ひょうご森のまつり二〇一三」が開催され、五千人を超える多くの皆さんが来場されました。

この「まつり」は、兵庫県・開催地市町・兵庫県緑化推進協会が主催、当連合会は後援者として毎年この時期に県下で選定された市町で開催されています。

開催の歴史は古く、第一回は昭和三十一年に姫路市の手柄山で、「緑化大

会」の名称で、まさしく禿山・荒廃した森林の復旧をテーマに林業関係者の行事として開催されたのが始まりですが、今回は通算で五十七回目となります。

現在の名称になってからは第六回を数え、森林の復旧のみではなく、森や緑は「県民共通の財産」との認識のもと、森に親しみ、森を育てる大切さを体験・実践する活動の輪が広がる契機となっています。

また、産業としての林業の分野では、県産材の利用を拡大していくために、公共建築物等木材利用促進法や木材利用ポイント制度による取り組みに加えて、昨年七月に再生可能エネルギー固定価格買取制度がスタートしたことから、「木質バイオマス発電」の燃料として林地残材等を利用していく新たな取り組みに大きな期待が寄せられており、森林組合系統としても積極的に取り組んでいくこととしております。

今後とも、こうした「多様で健全な森づくり」と「産業としての力強い林業の再生」を両輪とする森林組合系統の活動にご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| 2. 想点 | 5. 単協通信 甲南大学生生活協同組合／
たじま医療生活協同組合 |
| 3. 兵協連 第16回監事研修会 報告／
保健・医療・福祉研究会 施設見学研修 報告／
新春トップセミナーのご案内 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 第2回医療生協部会 報告／第2回共済生協部会 報告
兵協連「第3回東日本被災地支援活動」報告 | 7. 兵庫県のページ |
| | 8. 第9回初級経理学校、第12回税務・経理講習会のご案内／
1.17ひょうごメモリアルウォーク2014のお知らせ／
県連日誌／編集後記 |

兵庫県・兵庫県生協連 共催

第16回 「監事研修会」を開催

11月7日(木)、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による「監事研修会」を開催。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務のあり方を学び、今後も健全な生協運営を実施していただく一助にと計画したもので、当日は17生協から29名が参加しました。



はじめに、兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課 課長補佐 西谷美貴氏より「監事の役割と指導検査で見受けられる問題点」と題し、生協法の改正と監事の役割、監事の主な義務や権限、運営面・経理面での指導検査での問題点について講演をいただきました。

次に「決算書の見方と監査のポイント～監査の基本から～」と題して、税理士・公認会計士（兵庫県生協専門検査員） 藤田隆大氏より、監査の基本、決算書の見方、勘定科目別監査のポイントなどについてご講演いただきました。参加した役職員・監事からは、「指摘事項の事例など、監事が監査を行う視点から講義が聞けたので実務者の重点箇所が分かってよかった」「平素からの適正な業務が必要であると認識しました」などの感想が寄せられ、監事監査に対する関心の高さが感じられました。

保健・医療・福祉研究会 施設見学研修を開催

～ふつうの暮らしを、いつまでも～「10の基本ケア」を大切に

11月19日(火)、「保健・医療・福祉研究会」の施設見学研修として、社会福祉法人 協同福祉会 特別養護老人ホーム「あすなら苑」(奈良県大和郡山市)を訪問。今後の事業展開の参考にさせていただくことを目的に、「保健・医療・福祉研究会」メンバー6名と会員生協から4名、事務局3名の計13名が参加しました。90年度より発足した「保健・医療・福祉研究会」では、生協における介護事業についての学習や情報交換を重ねています。

今回の見学研修では協同福祉会 理事長 村城 正 様から、「あすなら苑」の「10の基本ケア」(①換気をする②床に足をつけて座る③トイレに座る④温かい食事をする⑤家庭浴に入る⑥座って会話をする⑦町内におでかけをする⑧夢中になれることをする⑨ケア会議をする⑩ターミナルケアをする)に基づいたサポートを実践されているお話をうかがい、各事業所のみなさまにご案内いただきました。ケアする側にとって都合の

いい介護ではなく、すべての生活動作の基本である「座位を保つ」ことをサポート。車イスから食卓への座り替えやエプロンを使わない食事、機械浴ではない普通のお風呂に入ること、また紙おむつを使用せずトイレに座ることで筋力を保つことなど、普通の暮らしを全うすることを大切にされているきめ細やかなサポート体制にメンバーは感銘を受けました。

参加者からは、「地域包括ケアの“奈良県モデルを作る”という情熱に感動しました」「介護の目的・本質は何かについて、毎日の介護実践のなかにおける一つひとつの意味についての理解が深まりました」などの意見が寄せられました。



テレビ電話で在宅の利用者の安否を確認

2014年度 兵庫県生協連 第9回 新春トップセミナーのご案内

■開催日時：2014年 1月11日(土) 14時～17時

■スケジュール：

14時～15時15分

記念講演会(トップセミナー) 県民会館10階「福」

15時30分～17時

賀詞交換会 県民会館 7階「鶴」

■参加対象：会員生協・団体 理事長、常勤(非常勤) 理事、
監事、職員、兵庫県生協連 理事・監事

■定 員：80名

■参加費：お一人 3,000円

記念講演：

『最近の金融・経済情勢と
私たち国民の生活への影響について
～全国の景気と兵庫の地域経済への
つながりについて』

講 師：日本銀行神戸支店長 鉢村 健氏

参加申込み・お問い合わせ：

兵庫県生協連 TEL 078-391-8634

「第2回 兵協連医療生協部会 研修会」を開催

11月5日(火) 14時00分～16時30分、兵庫県民会館において「医療生協部会 研修会」を開催しました。この研修会は、医療生協が組合員の健康づくりのための食生活の現状を学ぶために実施され、8医療生協の役職員、事務局あわせて13名が参加しました。研修会は、近畿農政局神戸地域センター 消費・安全グループ 統括農畜産安全管理官 中井 孝志氏と 主任農畜産安全管理官 曾我部 紫 氏を講師に「日本型食生活の実践について～食事バランスガイドを用いて～」をテーマに分かりやすくお話をいただきました。参加者からは「若者の食事の現状に驚きました」「医療生協の健康づくりに役立てたい」「楽しく、バランスよく、が大切ということがよく分かった」などの感想が寄せられ、食べることの大切さと、その簡単な実践方法がよく分かる有意義な研修会となりました。

「第2回 兵協連共済生協部会 研修会」を開催

11月13日(水) 13時30分～17時00分、兵庫県民会館において「TPP」をテーマに「共済生協部会研修会」を開催。兵庫県、共済生協の役職員、事務局あわせて17名が参加しました。この研修会は、TPPの成り立ちと広域経済連携の推移について学ぶため実施され、日本生協連総合運営本部政策企画部 三谷 和央氏を講師に「TPP交渉 広域経済連携」について、また、コープ共済連経営企画部 田中 大介 氏を講師に「TPP交渉 共済への影響」についてお話をいただきました。参加者からは「TPP全般について理解できました」「生協は厚生労働省、JA 共済は農水省と共済を所管する省庁が分かれているため、TPP交渉における共済制度維持のための政府への働きかけがまとまっていないことが不安です。また、国内の共済事業者の団結した行動も必要だと思います」などの感想が寄せられました。

この研修会では、共済事業を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、自信を持って事業推進していけるよう、改めて「組合員にとって安心できる共済とは何なのか」を考える機会となりました。



兵協連「第3回東日本被災地支援活動」報告



脳トレでは、みなさんの笑顔が見えます

兵庫県生協連では、11月1日(金)～2日(土)、宮城県山元町での支援活動に、コープ自然派兵庫 岸本 圭司さん、阪神医療生協 佐藤 幸子さん、神戸市民生協 藤光 忠男さん、兵庫県生協連 濱田 昌文の4名が参加しました。1日夜、「みやぎ虹の架け橋復興支援センター」到着。15人の医学生のみなさんと合流し、翌日の支援活動についての打ち合わせのあと「被災地支援2年間の取り組み」DVDを鑑賞、これまでの支援活動について学びました。2日朝、旧 JR 山下駅、新しい防潮堤、中浜小学校を視察。午前中は4人が分散し、「みやぎ県南医療生協」のみなさんや医学生の方々と一緒に、健康チェックや体操、脳トレゲームなどで、山石原仮設住宅、坂元老人憩いの家での支援活動を行いました。午後山元町花釜地区の被災者宅に支援者が集合したあと、被災者宅での健康チェックと茶話会、災害公営住宅集会所での健康チェックと茶話会に4人が分散して活動しました。また、神戸市民生協の藤光 忠男さんが、神戸の「NPO 法人ニィティ」が作成した絵手紙のタペストリーを被災者の吉野様宅へ寄贈。「タペストリーが、みんなの心を癒してくれます」と感謝の言葉をいただきました。

参加者からは、「中浜小学校では、リーダーの判断が大勢の命を救ったということに感銘を受けました」「津波から逃げる時、『命さえあればなんとかなる!』と家族を急がせた被災者の言葉には、説得力がありました」「仮設住宅で“戸別訪問禁止”と張り紙がしてあり、歯がゆく思いました」「『閉じこもって話をしないので、話すことに障害が出る人が出始めている』ということを知り、衝撃でした」などの報告が寄せられました。これからも被災地での経験を多くの方々に伝えながら、次年度の支援活動につなげていきます。



神戸から絵手紙のタペストリーを贈呈



吉野様宅の前で支援者とともに

甲南大学生生活協同組合

「Café Pensée リニューアル オープンセレモニー」を開催しました

カフェパンセ

甲南大学5号館Café Penséeがリニューアルされ、営業再開に先立ち、9月21日に新しいCafé Penséeのリニューアルオープンセレモニーを開催しました。

主催者として生協理事長挨拶に続き、学園理事長、副理事長、学長、副学長他多くの来賓にもご出席頂き、お言葉を頂きました。

本セレモニーでは、経営学部西村研究室による「甲南オリジナルブレンドコーヒーの名称発表」及び、甲南平生塾の塾生による「学内カフェの過ごし方提案」「企画提案」の発表、生協職員による「学友会館における新しい食の提案」の報告もありました。

学生委員会、自治会、文化会、体



育会等の学生団体からの出席も合わせて約100名、セレモニーの後はレセプションでパンセのメニューを楽しんでいただきました。

生まれ変わったCafé Penséeは、ガーデンテラスからブックコーナーまで様々な空間が存在し新しい発見と知の空間としてそれぞれのニーズに合わせて利用していただけたと思います。

(通信員 中谷満子)



たじま医療生活協同組合

強化月間スタートダッシュ企画

9月25日(水)、ろっぼう診療所近くの新田地区公民館で、支部活動交流集会を行い、34人が参加しました。宝塚医療生協の職員・組合員さんをお招きして、診療圏から遠い支部の活発な活動を中心に、講演をしてい

ただきました。「診療圏から遠い支部で組合員を増やすには、人と人のつながりを中心に考えた。まず同じ趣味の人が集まって班を作る。それから医療生協の活動につなげる。」前組合員活動委員長の池田さんのお話に、皆真剣に聞き入っていました。たじま医療生協からは、最近発足した班の活動を中心に発表しました。質疑応答では、宝塚医療生協の「助け合い110番」についてや、「たまり場」の運営方法など、たくさん質問が出て、一つ一つ丁寧に答えさせていただきました。

「今度はぜひ宝塚に来てください」とのことでしたので、この交流集会を活かして充実させた、たじまの活動を発表できたらと思います。

(通信員 春木圭介)



JF

兵庫県水産振興基金

淡路市で「かいぼり」はじまる！ ～10月には2つの池を作業～

JF 森（森 義政組合長）とJF 仮屋（岡田 光司組合長）が農業者と協働し、平成20年度からはじめている“かいぼり”。ため池の栄養を海へ流すことはもちろん、貯水量増加や堰堤のメンテナンスのほか、外来魚の駆除も行え、農業のみならず防災や環境面の効果でも注目されています。



地元小学生がかいぼり作業を見学

今年は、10月9日(水)に淡路市釜口の「奈良町池」で行った後、10月24日(木)は同市久留麻の「新池」で行われ、JF 森・仮屋の漁業者や地元農業者ら約70名が作業に汗を流しました。関係者によると24日の新池は、約30年ぶりのかいぼりとのことでした。水が抜かれ、魚も前日までに他の池に移すなど準備がされた池の底には約2mもの泥が堆積しており、漁業者を中心にポンプでの放水と合わせて、ジョレンなどの道具を使った手作業で、丁寧に池や用水路の泥を流していました。また、この日は近くの学習小学校、浦小学校の3年生がかいぼりの取り組みを学ぶため、見学に訪れました。池の傍には、前日までに獲れた池のコイ、フナなどが水槽に入れられており、網ですくったりして楽しみながら学んでもらえたようです。

森 正安氏（JF 森）は「この地区から始まった協働によるかいぼりが島内に広がっていることは嬉しいこと。今年は2つの池で、かいぼりにより多くのウナギが確認された。海と山を繋げる取り組みとして、ウナギが遡上しやすい形状の余口（よくち：洪水吐の意）にするなど、ため池をもっと有効に活用することでできれば」と話されました。

かいぼりはこの後、洲本市でも予定されていることに加え、学校教育の場にも取り入れられるなど、淡路島全体の取り組みとして大きく発展しつつあり、今後の活動に期待が集まっています。



用水路では、池からの泥を流しつつ、魚を救出！



2mもの泥が堆積していました

JA

JA 全農兵庫

神戸プレジールで行われた EU輸出に向けての調印式

EU（欧州連合）全域に販路をもつモナコ食肉卸商社のジラウディ社のエルミーニョ会長とリカルド社長が、このほど全農兵庫県本部直営レストラン「神戸プレジール」に来店し、神戸ビーフのEU輸出に向けて同レストラン内で「神戸肉流通推進協議会」（事務局：全農兵庫県本部）への加盟に調印しました。

神戸ビーフを取り扱うためには、畜産農家・販売業者などで構成される神戸肉流通推進協議会に加盟することが必要であり、調印後には加盟店の印である神戸ビーフの盾が、同協議会の平井副会長からエルミーニョ会長に手渡されました。ジラウディ社が加盟を受け、EUの輸出手続きが完了次第、神戸ビーフがジラウディ社を通じてEU全域に販売することが可能となります。

調印後には、神戸プレジールで神戸ビーフのサーロイン・フィレ・イチボ・ミスジ・ラムシンの各部位の鉄板焼き特別料理を味わい、「これまで食べたどの肉よりもおいしい。この神戸ビーフのおいしさをEU全域に伝えたい」と話しました。

神戸ビーフがEUに進出することで、さらにブランド価値が高まることが期待されます。

なお、神戸ビーフは昨年2月以降、マカオ・香港・タイ・アメリカ・シンガポールの5カ国に輸出されています。



（右から順に）平井副会長、エルミーニョ会長、リカルド社長（神戸プレジールにて）



景品表示法では…

うそや大げさな表示など 消費者をだますような表示を禁止しています

品質や価格等は消費者が商品・サービスを選ぶ基準であり、その表示は**正しく、わかりやすい**ことが大前提です。ところが、新聞にも大きく報道されたように、商品やサービスについて、実際よりも優良や有利に見せかけた表示が行われると、適切な商品やサービスの選択が妨げられてしまいます。

このため、景品表示法では、消費者に誤認されるような不当な表示を禁止しています！

【優良誤認を招く不当表示例】

「100%果汁」と表示したジュースの果汁成分が、実際には60%だった。



国産有名ブランド牛の肉であるかのような表示だったが、実際にはブランド牛ではなかった。



【有利誤認を招く不当表示例】

荷物の運送料金について「今なら半額」と表示していたが、実際には常に同じ価格だった。



地域で一番の安さとチラシで表示していたが、実際は周辺の価格調査をしておらず、根拠がないものだった。



優良誤認、有利誤認の他に、特定の商品・サービスについて、消費者に誤認されるおそれがあるとして、内閣総理大臣が特に指定（告示）し、禁止されている不当表示で次の6種類が指定されています。

- 無果汁の清涼飲料水等についての不当な表示
- 商品の原産国に関する不当な表示
- 消費者信用の融資費用に関する不当な表示
- 不動産のおとり広告に関する不当な表示
- おとり広告に関する不当な表示
- 有料老人ホームに関する不当な表示

問合せ先

- 消費者庁表示対策課指導係 03 - 3507 - 8800 (代)
 - 兵庫県立健康生活科学研究所生活科学総合センター指導課 078 - 302 - 4003
- 詳しい内容はこちら→<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf13/keiyouhou.html>

MOVE

経理の重要性が増すなか、兵庫県生協連では「初級経理学校」「税務・経理講習会」を独自で開催しています。2014年開催の日程が決まりましたので、ご案内いたします。

第9回「初級経理学校」のご案内

経理担当者の初歩からの人材育成をめざして、生協簿記の基礎知識から決算関係書類作成までをていねいに指導します。

日程：1月16日(木)、17日(金)、21日(火)、22日(水)、23日(木)

会場：兵庫県民会館ほか 受講料：お一人 2万円

講師：三宅 充氏 (MMコンサルティング代表)

カリキュラム (1) 生協簿記の基礎知識 *講義・演習・練習の繰返し (2) 取引と仕訳 (3) 主な勘定科目の説明
(4) 決算手続き・試算表の作成・精算表の作成 (5) 貸借対照表と損益計算書・剰余金処分案の作成



第12回「税務・経理講習会」のご案内

税務経理の諸問題等についての合同の講習会とクラス別の講習会で、生協の税務と経理の実務について学びます。今回は、改正消費税と特別措置法の概要の解説も行います。

日時：1日目：2月18日(火) 9時30分～18時、2日目：2月19日(水) 9時30分～18時

会場：兵庫県民会館 受講料：会員生協：無料/関連子会社：お一人 5,000円 *ただし、昼食代・テキスト代は実費を徴収します。

講師：江藤 俊哉氏 (税理士)、三宅 充氏 (MMコンサルティング代表)

宮田 正樹氏 (西宮市職員生活協同組合 統括部長)、山下 信孝氏 (生活協同組合コープこうべ 経理部統括)

クラス別講習内容：(1) 初級クラス (定員20名)

・内容：①税務・経理・財務管理の基本 ②簡単な設例に基づく税務申告書の書き方の手ほどき。

(2) 中上級・関連子会社 (株式会社) クラス (定員20名)

・内容：①改正消費税の申告書の作成 ②設例に基づく法人税申告書の作成 (演習含む)

③上級者用設例による解説

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634

阪神・淡路大震災 19周年

～ひょうご安全の日のつどい～

1.17ひょうごメモリアルウォーク2014

～東日本大震災被災地の復興を応援します～

震災時を思い起こしながら、緊急時の避難路、救援路を歩き、防災意識を新たにするとともに、ゴールとなる HAT 神戸・なぎさ公園で開催される「1.17のつどい」に参加しませんか。

開催日：2014年1月17日(金)

参加費：無料 (事前申込要)

●事前参加申し込み・お問い合わせ

ひょうご安全の日推進県民会議 事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 (兵庫県復興支援課内)

TEL:078-362-9984 FAX:078-362-4459, 9876

*電話でのお問い合わせ時間……9:00～17:30 12/29～1/3、土日祝は除く。

●●●ウォークコース●●●

コース名	スタート会場	スタート時間
東15kmコース	西宮市役所(西宮市六湛寺町)	午前 8:00
東10kmコース	芦屋市川西運動場(芦屋市川西町)	午前 8:30
東2kmコース	王子公園(神戸市灘区)	午前11:00
西15kmコース	須磨海浜公園(神戸市須磨区)	午前 8:00
西10kmコース	県立文化体育館(神戸市長田区)	午前 8:30
西5kmコース	神戸市立中央体育館(神戸市中央区)	午前10:00

このほか、事業所・学校などの単位で、災害時帰宅困難者の徒歩帰宅訓練を目的として実施する「帰宅訓練ウォーク」もあります。

*当日開催の有無は、ひょうご安全の日公式サイトほか、電話案内(0180-991-546)でもお知らせします。

主催：ひょうご安全の日推進県民会議

県連日誌

12月2日(月) 兵協連第2回貸付審査会・第4回理事会

12月4日(水) 兵庫JCC第3回幹事会 (県民会館 1201)

12月12日(木)・13日(金) 兵庫JCC (県民会館 ぼたん)

「協同組合の源流をさぐる旅」 (千葉・東京)



編集後記

友人とライブを観にナゴヤドームまで行くことに。その後、翌日仕事のある友人を見送り一泊して、生まれて初めての名古屋の街を一人旅。「味噌カツ」「名古屋コーチン」「味噌煮込みうどん」「手羽先」「ういろう」「シロワール」……と食べ歩き、お腹の方もすっかり名古屋満喫♪。今まで訪れる機会がなく、神戸からこんなに近いのも新発見でした。まだまだ自分の足で散策できる街はたくさんありそう。寒い季節も元気に出掛けたいです。次に名古屋を訪れるときはぜひ「モーニング」と「特大エビフライ」で！ ☆来年も、「兵協連だより」をよろしくお願いたします。みなさま、よいお年をお迎えください。(中尾)